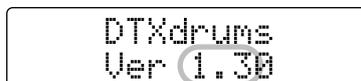


# DTX502バージョン1.3について

このたび、DTX502ではファームウェアのバージョンアップにより、いくつかの機能が追加されました。製品付属の取扱説明書はDTX502バージョン1.00用です。このチラシでは、付属の取扱説明書に対して追加または変更となる点についてご説明します。

## バージョンの確認方法

[SHIFT]ボタンを押しながら電源スイッチをオンにします。



バージョン

## ■ DT50S/DT50K(ドラムトリガー)に対応(取扱説明書13ページ、66ページ、68ページ、71ページ)

トリガーセットアップにDT50とDT50Meshが追加されました。

パッドタイプにDT50S/DT50K用が追加されました。トリガー設定にインプットエクスチェンジが追加されました。

コピートリガーに2ピエゾごとのコピー機能が追加されました。

### NOTE

ドラムトリガー DT50S/DT50KをDTX502に接続して使用する方法について詳しくは、PDFマニュアル「DT50S/DT50Kのためのドラム音源モジュール設定マニュアル」をご覧ください。

ヤマハダウンロード <http://download.yamaha.com/jp>

## ■ DTX582K(ドラムセット)とKP100(キックパッド)に対応(取扱説明書13ページ、66ページ、68ページ)

トリガーセットアップにDTX582Kが追加されました。

パッドタイプにKP100が追加されました。

お買い上げの製品に合ったものをお選びください。

## ■ データセーブ(保存)方法の変更(取扱説明書25ページ)

データセーブ時のフラッシュROMへのバックアップデータ書き込みタイミングが変更されました。

ソングREC終了時、キット、クリック、トリガー設定の各セーブ実行時、ジョブ実行時にデータが保存されます。

## ■ レイヤー機能の追加(取扱説明書57ページ)

3レイヤーおよび4レイヤー設定が追加されました。

(Snareの「インスト」のみ)

ベロシティー値を境にインプットソース(snare on/off)とレイヤー(A/B)が切り替わります。

### 例)

#### • 3Layer1の場合

ベロシティー 1~50ではsnare(Head/OpenRim/ClosedRim)A\*が発音、ベロシティー 51~110ではsnare(Head/OpenRim/ClosedRim)B\*が発音、ベロシティー 111~127ではsnare(off)(Head/OpenRim/ClosedRim)Aが発音します。

\* Aはレイヤー Aを、Bはレイヤー Bを意味しています。

#### • 4Layer1の場合

ベロシティー 1~50ではsnare(Head/OpenRim/ClosedRim)Aが発音、ベロシティー 51~80ではsnare(Head/OpenRim/ClosedRim)Bが発音、ベロシティー 81~110ではsnare(off)(Head/OpenRim/ClosedRim)Aが発音、ベロシティー 111~127ではsnare(off)(Head/OpenRim/ClosedRim)Bが発音します。

### NOTE

• 3レイヤーおよび4レイヤーを設定した場合、KitC6(Snares)の設定画面で設定値をOffに設定しても無効となります。Snaresの設定値を変更した場合は、インプットソースのSnare(off)側にも反映されます。

• 「インスト」につきましては取扱説明書20ページを、「インプットソース」につきましては取扱説明書29ページをご参照ください。

## ■ トリガー感度パラメーターの微調整

トリガー入力端子⑩、⑪、⑫のインプットに関する感度パラメーターを微調整しました。